

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 29 年 2 月 16 日 (2017.2.16)

【公開番号】特開 2015-136072 (P2015-136072A)  
 【公開日】平成 27 年 7 月 27 日 (2015.7.27)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-047  
 【出願番号】特願 2014-7272 (P2014-7272)  
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/225 F

H 0 4 N 5/232 Z

H 0 4 N 5/91 J

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 13 日 (2017.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 4】

撮影指示に応答して被写体像の R A W 画像データを生成する撮像手段と、  
 記録媒体にデータを読み書きする記録手段と、を有する撮像装置のコンピュータを、請求項 1 から 1 2 のいずれか 1 項に記載の s 撮像装置 の各手段として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 1 5 】

撮像センサ部 1 0 2 は、画素毎に配置される赤、緑、青 ( R G B ) のカラーフィルターを透過した光を電気信号に変換する、例えば C C D イメージセンサや C M O S イメージセンサであってよい。図 1 4 は、撮像センサ部 1 0 2 に配置されるカラーフィルターの一例であり、撮像装置 1 0 0 が扱う画像の画素配列を表している。図 1 4 に示すように、赤 ( R ) 1 6 0 3、緑 ( G ) 1 6 0 1、青 ( B ) 1 6 0 2 が画素毎にモザイク状に配置されていて、2 × 2 の 4 画素につき赤 1 画素、青 1 画素、緑 2 画素を 1 セットにして規則的に並べられた構造となっている。このようなカラーフィルタの配列は、一般に原色ベイヤー配列と呼ばれる。本実施形態の撮像センサ部 1 0 2 は、横 8 0 0 0 画素 × 縦 4 0 0 0 画素の画像データを 6 0 フレーム毎秒で出力する能力を有するものとする。なお、カラーフィルターを構成する色や配列は原色ベイヤー配列に限定されず、他の任意の配列を採用することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 4

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 3 4 】

制御部 1 6 1 は撮像装置 1 0 0 の処理負荷状態が低いかなかを判定し ( S 3 0 1 ) 、負荷状態に応じてアイドル状態 ( S 3 2 0 ) へ遷移し、そうでなければ S 3 0 2 へ進む。負荷状態は制御部 1 6 1 が有する C P U の稼働率や、予め定められた高負荷の動作、例えば高速連写動作が行われているかどうかなどに応じて判別することができるが、これらに限定されない。アイドル状態に遷移する程度に処理負荷が低い場合、制御部 1 6 1 は処理を S 3 0 2 へ進める。なお、アイドル状態へ遷移するかどうかの判定処理については後述する。

## 【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 3

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【 0 0 6 3 】

図 4 においてアイドル処理が開始されると、制御部 1 6 1 が、ユーザの設定に基づいて、後現像処理を行うかなかを判定し ( S 5 0 1 ) 、後現像処理を行わない場合はアイドル処理を終了して元の処理に復帰し、後現像処理を行う場合は S 5 2 0 に遷移する。